

2023 年度 川崎医学会評議員会兼総会議事録

2023 年 7 月 29 日

日時：2023 年 7 月 29 日 12:15～13:00
場所：現代医学教育博物館 2 階大講堂

トファクターを付記し、これを一つの参考情報として審査することが提案・承認された。

1. 会長挨拶(砂田会長)

2. 審議事項

1) 2022 年度決算について(橋本委員)

2022 年度決算について説明され、主として以下の事項について審議・承認された。機関紙の完全 Web 化が完了し、印刷費は減少した。講演会費はコロナ禍での開催回数減少により減少した。研究支援費は記念号(100号)でカラー頁が多かった為、想定の 2 倍の約 100 万円を支出した。2015 年度以降、特別会計を切り崩す形で一般会計への繰り入れを行ってきたが、本年度は特別会計の残高は前年度と同じく約 2,000 万円となった。

2) 2022 年度監査報告(橋本委員)

2023 年 6 月 5 日に会計監査が行われ、適正と判断されたことが報告・承認された。

3) 2023 年度予算(案)について(橋本委員)

概ね例年通りの予算案を組むことが提案され、以下の事項について審議・承認された。機関紙査読システムの開発は前年度までに完了し、今後は維持費のみ(年間約 13 万円)を計上する。但し、今年度は一般教養篇を査読システムに組み込む為に必要な経費(約 60 万円)を計上するので、合計約 73 万円となる。川崎学園創立 50 周年記念事業への積立金として 150 万円を計上する。

4) 川崎医学会誌一般教養篇について(長洲委員)

機関紙の査読システムに一般教養篇を組み込む際に必要な経費として約 60 万円を支出することが提案・承認された。

5) 研究奨励賞について(長洲委員)

研究奨励賞の選定に当たり、当該雑誌のインパク

6) 50 周年記念事業について(長洲委員)

川崎学園創立 50 周年記念事業に向けた準備の進捗状況について説明され、2022 年 9 月 1 日に開催された委員会で議論が行われたこと、9 名の準備委員の紹介、学術講演会(市民公開講座、セミクローズドな講演会)の形式や候補者、その他の事業(寄贈、記念論文賞)について報告・議論された。予算上限を 1000 万円とし、まずは招待講演者の選定を最優先に進めていくことが確認された。

7) 川崎医学会講演会細則変更について(長洲委員)

医学会講演会の細則について、主として経費の負担、及び、会員外の参加者への対応について、また、謝金の支払いを大学規定に準ずるように変更することが報告・承認された。

3. 報告事項

1) 会則について(長洲委員)

医学会会則について、主として正会員の所属先についての変更が報告・承認された。

2) 人事について(長洲委員)

以下の人事が報告・承認された。

評議員【就任】 伊藤 浩先生、大橋一郎先生、假谷 伸先生、根石陽二先生、菱川朋人先生、福倉良彦先生

評議員【退任】 宇野昌明先生、大野直幹先生、沖本二郎先生、桐生純一先生、楠 裕明先生、杉原 尚先生、種本和雄先生、通山 薫先生、中村隆文先生、山口佳之先生、レオン佐久間先生

編集委員【就任】 曹 英樹先生、中野和久先生、仁科惣治先生、野田知之先生、福倉良彦先生、向井知之先生、山辻知樹先生

編集委員【退任】岡本安雄先生、鎌田智有先生、近藤英生先生、玉田 勉先生、戸田雄一郎先生、藤原由規先生

3) 2022 年度編集委員会報告(長洲委員)

(1) 2022 年度秋季編集委員会

2022 年 11 月 9 日

投稿規定変更、編集委員の役員人事、投稿状況、AE への依頼状況、査読システム進捗状況について議論されたことが報告された。

(2) 2022 年度春季編集委員会

2023 年 3 月 22 日

医学会誌論文賞、編集委員会人事、投稿規程(査読システム導入)、一般教養篇投稿規程、砂田会長の一般教養篇の査読、刊行状況、投稿状況について議論されたことが報告された。

上記の議論をもとに、医学会誌投稿規定(和文・英文共通、一般教養篇)の変更箇所について説明・報告された。主な変更点はオンライン査読システムからの投稿に変更されたことによる手続き上の変更である。

4) 査読システム運用開始について(長洲委員)

2023 年 6 月 1 日投稿分より査読システムの運用を開始することについて、2023 年 5 月に会員向けに通知されたことが報告された(一般教養篇は 2024 年 4 月頃の運用開始を予定)。

5) 刊行状況(長洲委員)

過去 3 年(2020, 2021, 2022 年)の刊行状況について以下のように報告された。川崎医学会誌(和文誌): 11, 20, 11 本、Kawasaki Medical Journal(英文誌): 23, 25, 21 本、一般教養篇: 6, 6, 3 本。2023 年度は現在のところ、川崎医学会誌に 5 本、Kawasaki Medical Journal に 5 本、一般教養篇に 5 本の論文が査読中を含めて投稿されており、順調に推移している。

6) 川崎医学会賞について(長洲委員)

【研究奨励賞】 大学・研究委員会より

外園英光 先生

Value of 3-T MR imaging in intraductal papillary

mucinous neoplasm with a concomitant invasive carcinoma.

European Radiology

URL: <https://link.springer.com/article/10.1007/s00330-022-08881-6>

【医学会誌論文賞】 医学会・編集委員会より

(1) 岩本高典 先生

脳卒中急性期病棟における在院期間と回復期リハビリテーションによる機能予後改善の関連
川崎医学会誌 48 : 1-9, 2022

doi : 10.11482/KMJ-J202248001

(2) 三上友香 先生

Role of the expression of collagen prolyl-4-hydroxylase α subunits 1 and 2 in the development and prognosis of breast cancer
Kawasaki Medical Journal 48 : 87-104, 2022

doi : 10.11482/KMJ-E202248087

本会の最後に、上記 3 名の受賞者への受賞式が行われた。

7) 川崎医学会講演会(長洲委員)

(1) 2022 年度実施状況

計 19 回の講演会(学外講演者 6 回、学内講演者 13 回【全て新任教授講演会】)が行われたことが報告された。

(2) 2023 年度実施・実施予定・新任教授講演会

2023 年度は現時点で 4 回(4 月 17 日, 6 月 2 日, 7 月 10 日, 7 月 12 日)、今後の開催予定も 2 回であること、また、新任教授講演会は計 8 回が開催予定であることが報告された。

文責: 庶務 橋本